



平成27年6月24日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

名古屋市港区の中学生192名が名古屋港を見学 ～「みなとへ行こう」 身近にある港をもっと近くに～

■概要

平成27年6月18日(木)、名古屋市港区の中学生192名と教員9名の計201名が名古屋港を訪れた。今回の名古屋港の見学は、身近にある名古屋港について理解を深め、地域を愛する心を身につける事を目的とし、総合学習の一環で「みなとへ行こう」として行われたもの。

当日は、生徒達が事前に調べた、自分たちが住んでいる地域や名古屋港について疑問に思う事を質問する『学習会』と、船上より名古屋港を見学し理解を深める『見学会』が行われた。

『学習会』では、「名古屋港では、自動車の輸出量が多いが、なぜ日本の自動車は人気があるのか？」や、「名古屋港の水質は、東京や横浜、神戸の港と比べてきれいか？」など、名古屋港の輸出入に関する質問や、環境に関する質問など36個の質問があり、名古屋港湾事務所の職員がそれに答えた。生徒達は質問に対する回答を熱心に聞き、メモや写真などで記録に残していた。

船上からの『見学会』では、港に関わる仕事の経験者であり港を良く知る名古屋みなとサポーターより名古屋港の歴史や概要について説明をうけ、生徒達はメモを取りながら、説明を熱心に聞いていた。

生徒達は普段見ることのできない海から見る自分たちが住んでいる町の風景を興味深く見学していた。ある生徒は「港に近いところに住んでいるが、知らないことが多くあり、驚いた。今回学んだことを今後の生活に活かしていきたい。」といった感想を述べていた。

■行程

<6月18日 9:45～12:20>

生徒達は、ガーデンふ頭にあるポートビル(名古屋市港区)に集合し、学習会に参加するグループと船上より名古屋港を見学するグループの2つに別れて行動し、後に交代した。学習会では事前に調べた疑問について質問し、理解を深めた。名古屋港見学では「東山ガーデン号」と「エンゼルハープ号」の2隻の船に別れて乗船し、名古屋みなとサポーターの説明を聞きながら、新名古屋火力発電所、名港トリトン、コンテナターミナルなどの施設や、自動車運搬船、などを約1時間見学した。



■見学の様子(別紙)

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾
空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303

■見学会の様子



学習会の様子①



名古屋港見学の様子②



学習会の様子②



名古屋港見学の様子④



名古屋港見学の様子①



名古屋港見学の様子⑤